



## 岐阜信用金庫



2023年9月25日

### 株式会社 増田清商店との

### ポジティブ・インパクト・ファイナンスの契約締結について

岐阜信用金庫（理事長 好岡 政宏）は、持続可能な社会への貢献を共に実現するため、株式会社 増田清商店（代表取締役 増田 洋一）と、「ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

岐阜信用金庫は、引き続き、地域金融機関としての責任を果たし、ポジティブ・インパクト・ファイナンスの普及と持続可能な社会を実現するために、お客さまの目標にあわせたサポートを行い、ポジティブな社会的、環境的、経済的なインパクトの実現に積極的に取り組んでいきます。

#### 記

##### 【契約内容】

融資金額	50百万円
期間	5年
資金用途	事業資金

##### 【企業概要】

発行企業名	株式会社 増田清商店
所在地	愛知県名古屋市東区芳野一丁目1番17号
代表者	増田 洋一
事業内容	産業繊維資材（テント・シート等）、看板資材等の卸売 上記に付帯する企画・設計・施工
資本金	50百万円
設立	1951年2月1日（創業 1927年2月）
第三者評価機関	株式会社 格付投資情報センター 評価レポート： <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html">https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html</a>

以上

株式会社増田清商店  
ポジティブインパクトファイナンス評価書

2023年9月25日

GIFUSHIN



おかげさまで100周年

岐阜信用金庫が株式会社増田清商店（以下、「増田清商店」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、当社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクトおよびネガティブインパクト）を分析・評価した。この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、岐阜信用金庫が開発した評価体系に基づいている。

# 目次

## 1. 事業概要

- (1)企業概況 ..... -3-
- (2)沿革 ..... -4-

## 2. サステナビリティ

- (1)社会貢献に資する取り組み ..... -4-
- (2)環境に資する取り組み ..... -5-
- (3)人材等に資する取り組み ..... -5-

## 3. インパクトの特定

- (1)事業内容 ..... -5-
- (2)事業のフレームワーク ..... -7-
- (3)インパクトレーダーによるマッピング ..... -8-
- (4)インパクトの特定 ..... -11-

## 4. インパクトニーズとの整合性 ..... -13-

- (1)日本におけるインパクトニーズとの整合性 ..... -13-
- (2)愛知県におけるインパクトニーズとの整合性 ..... -13-

## 5. 岐阜信用金庫との親和性 ..... -14-

## 6. KPI の設定 ..... -15-

## 7. モニタリング方法およびマネジメント体制

- (1)当社におけるインパクトの管理体制 ..... -17-
- (2)当社によるモニタリング ..... -17-

## 1. 事業概要

### (1) 企業概況

当社は、テント（主に業務用。キャンプ等で使用するものではない）や間仕切りシートとして使用する産業繊維資材の卸売業を主体に、それに付帯する企画・施工および商業施設等の看板の企画・施工事業を営んでいる。創業 95 年以上と業歴長く、テント・シート業界における地元老舗企業であり、東海地区におけるテントシェアの 8 割を持つ。企画から施工までワンストップで対応できることが当社の強み。長い業歴から得たノウハウから自社ブランドも有しており、環境、経済、社会のあらゆる面において活躍している企業である。

会社名	株式会社増田清商店
本社 所在地	愛知県名古屋市東区芳野一丁目 1 番 17 号
関東営業所 所在地	埼玉県さいたま市中央区鈴谷七丁目 10 番 25 号
守山工場 所在地	愛知県名古屋市守山区宮町 256
代表者	代表取締役 増田 洋一
資本金	5,000 万円
売上高	23.3 億円（2022 年 11 月期）
創業年月日	1927 年 2 月
事業内容	1. 産業繊維資材（テント・シート等）、看板資材等の卸売 2. 「1」に付帯する企画・設計・施工
従業員数	46 名（2023 年 6 月末時点）
許認可	一般建設業：認可番号 愛知県知事（般-31）第 107314 号 屋外広告業：登録番号 愛知県知事（登-30）第 752 号 登録番号 名古屋市（登 30-2）第 524 号 登録番号 大阪府知事 第 27013 号 登録番号 埼玉県知事 埼広（01）第 1915 号
所属団体	愛知県テント・シート工業組合、日本テント・シート工業組合連合会 名古屋重布会、東京重布会、愛知県屋外広告美術協同組合 名古屋商工会議所、名古屋東法人会

## (2)沿革

1927年02月	初代増田清松が「清樹屋」と屋号を称し名古屋市東区出来町にて創業
1951年02月	「株式会社 増田清商店」に商号変更 資本金 200 万円にて設立
1989年04月	サイン部門を設立
2003年02月	代表取締役役に増田洋一が就任
2009年07月	埼玉県さいたま市に関東営業所を開設
2011年12月	岐阜県岐阜市の齋交(株)の全株式を取得し資本提携
2012年02月	名古屋市守山区に守山工場を開設
2012年03月	オリジナルブランド「MK エコスクエアシリーズ」を発表 以降現在までにオリジナルブランドを 12 ブランド展開
2012年10月	一般建設業の許可を取得
2013年03月	第 1 回無担保社債を発行
2018年12月	奈良県葛城市の(株)旭商会の全株式を取得し資本提携
2021年03月	東京都(株)ビーアド、(株)ビーハズの全株式を取得し資本提携

## 2. サステナビリティ

### (1)社会貢献に資する取り組み

産業繊維資材（テント・シート）は、各種用途に利用可能であり、地域イベントや災害時など、様々な場面で持続可能な街づくりに貢献している。特に自社ブランドである **MK シリーズ**は、高性能・高品質の日本製品としてあらゆるフェーズで活躍している。

具体的な取り組みは以下の通りである。

- ・遮熱性の高いシートをオーニング（日よけ）に使用することで、室内温度を安定させる効果があり、生活環境だけでなく、労働環境においても快適な空間を提供することが可能である。現在、地元大手自動車メーカーより施工効果が認められ、一次アッセンブリ企業に対する施工を進めている。
- ・テントが持つ柔軟性と汎用性は地域コミュニティにおいて多くの場面で有効的に活用されており、運動会や催しもの等、各種イベントで使用されることで地域の活性化に貢献している。
- ・ワンタッチメントや軽量化を図った利便性の高いテントやシートは、特に地震・洪水などの自然災害が発生した際に、一時的な避難所や救援所として利用されることから、地域の安心安全を提供することが可能である。現在は、経済産業省と連携し、最適なテントの提供方法など地域の安全のために提言するほか、被災地へ優先的に提供できる体制を整備している。

### **MK シリーズ（プライベートブランド）**

消臭、抗菌、滑り止め、耐衝撃吸収、防錆、防虫、耐油性、耐摩擦、蒸気養生、防鼠防鳥、アオリ補強、断熱性等、様々な機能を持つ国産に拘った高性能産業繊維資材。

## (2)環境に資する取り組み

シートの持つ特性を最適な環境で使用することにより、環境への負荷を低減させる効果がある。  
具体的な取り組みは以下の通りである。

- ・先述のごとく、遮熱性の高いシートをオーニングに使用することで、室内温度が安定することから、空調の利用を抑制することが可能となり省エネに貢献する。
- ・建物の天井や倉庫の上屋に透光性があるシートを利用することにより、日中の照明の利用を抑制することが可能となり省エネに貢献する。
- ・建物内に気密性の高いシートを利用した場合、独立したスペースを短納期・フレキシブルに創出することが可能で、コスト面だけでなく、資材の使用も大幅に削減できることから、省資源化に貢献する。
- ・耐久性の高いシートを建物の補修や改築に使用することにより、上記同様の効果を得ることが可能となる。

## (3)人材等に資する取り組み

健やかな職場環境とワークライフバランスの推進により、社員一人ひとりのやりがいやモチベーションの向上につながる取り組みを行っている。

具体的な取り組みは以下の通りである。

- ・社員の健康とプライベートの充実を図るため「完全週休 2 日」の徹底と、過度な残業管理による業務や給与に対するストレスを緩和するために、「残業を週 5 時間以内」の取り組みを行い、健やかな労働環境を提供している。
- ・社員同士のコミュニケーションを重要と考え、余暇における各種クラブ活動の推奨とサポートのほか、新商品開発においては、全社員参加型の会議を行うことで、強固な組織づくりを推し進めている。
- ・女性活躍の場の創出のためにも積極的に女性を雇用するなどしており、またライフイベントに合わせた休暇の取得、勤務体制等についても柔軟に対応している。
- ・ハラスメント対策として、定例的にコンプライアンス研修を実施し、組織内の感情的なコンフリクトの発生防止を図っている。

## 3. インパクトの分析

### (1)事業内容

当社の事業は以下の 2 部門から構成される。

#### ① 産業繊維資材（テント・シート等）、看板資材等の卸売（売上高比率：約 60%）

産業繊維資材については、大手繊維メーカーの正規代理店としての販売および汎用性の高い安価な海外（中国）製品に加え、高性能高品質でファブレス化して国内製造している自社ブランド「MK シリーズ」の概ね 3 つの特性を持った商材を取り扱っている。愛知県における業界最大手の卸売事業として持つ情報と 95 年を超す長い業歴で得たノウハウから、顧客に最適な

商材を提供することにより、テントにおいては愛知県内において 8 割のシェアを有している。  
 また、看板事業については商業施設で発生するシートの利用からシナジー効果を期待して横展開した事業であり、産業繊維資材の卸売事業と同様、中部圏全域、関西圏、首都圏と営業エリアを拡大している。

### 【オリジナル商品「MK シリーズ」 一部抜粋】

<p><b>MK エコスクエアシリーズ</b>  <small>応用用途 工場内窓用シート、カーテン、バッグ、シートシャッター、カバー その他</small></p>	<p><b>MK 特殊機能シリーズ</b></p>	<p><b>MK 不燃シリーズ</b>  <small>応用用途 工場内窓用シート、カーテン、バッグ、シートシャッター、カバー、その他</small></p>	<p><b>MK 遮熱・耐熱シリーズ</b>  <small>応用用途 工場内窓用シート、カーテン、バッグ、シートシャッター、カバー、その他</small></p>
【エコスクエア Srs.】	【特殊機能 Srs.】	【不燃 Srs.】	【遮熱・耐熱 Srs.】

### ② 「①」に付帯する企画・設計・施工（売上高比率：約 40%）

当社では産業繊維資材や看板等の卸売に付帯した、企画、設計、施工（工事）まで対応可能であることから、ワンストップによる短納期が実現されるほか、中間マージンの省略による低コストや一貫した取り組みによる統一感のあるブランディング、卸売事業社ならではの最適な資材・製品の提案が可能であり、中部圏を中心に、関西圏、首都圏をなど全国に営業エリアを拡大している。



【デザイン性の高いオーニング施工事例】



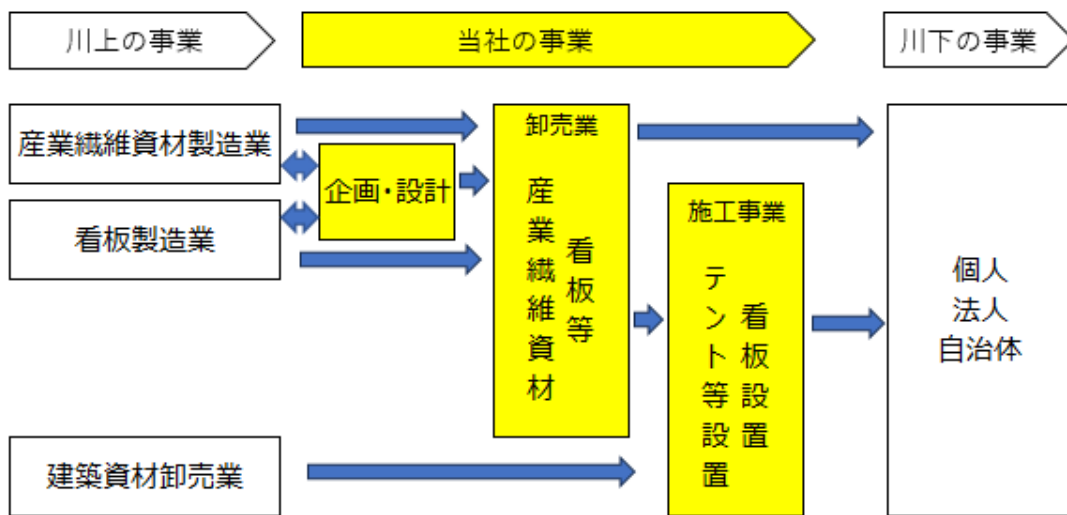
【透光性のある上屋の施工事例】





【サイン（看板）の施工事例】

(2) 事業のフレームワーク



上図は、当社の事業のフレームワークを可視化したものである。

当社は、テントや間仕切りシートとして使用する産業繊維資材の卸売業を主に、付帯する企画・施工を展開するほか、商業施設等の看板の企画・施工事業を営んでいる。

産業繊維資材の仕入については、汎用性の高いものは海外から輸入し、高性能かつ高品質であるプライベートブランド「MK」シリーズにおいては、品質維持のために国内生産を図っている。

また、看板事業については、テント・シート事業とのシナジー効果が高く、商業施設施工時にエントランス等に関する一切のデザイン、企画、施工をワンストップで対応可能であることが当社の強みである。

以上より、事業が「社会」「環境」「経済」に与えるインパクトについて、分析を実施する。

### (3) インパクトレーダーによるマッピング

当社、および当社の川上の事業を国際産業標準分類 (ISIC) 上の業種カテゴリに適用させた上、UNEP FI が提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト」(以下 PI) と「ネガティブインパクト」(以下 NI) を想定する。バリューチェーン分析上の川上の事業については「他に分類されないその他の繊維製造業 (ISIC: 1399)」「プラスチック製造業 (同 2220)」、「建築材料、金物類及び配管、暖房設備器具卸売業 (同: 4663)」を、当社の事業については「織物、衣類及び、履物の卸売 (同: 4641)」「建築材料、金物類及び配管、暖房設備器具卸売業 (同: 4663)」、「その他の専門工事業 (同 4390)」を適用。川下事業については、個人、法人、地公体と多岐に渡るため選定しないうえで分析を実施した。

◎ : 主要カテゴリ ○ : 関連カテゴリ

国際産業標準分類 インパクトカテゴリ	川上の事業① 【1399】 他に分類されない その他の繊維製造業		川上の事業② 【2220】 プラスチック製造業		川上の事業③ 【4663】 建築材料、金物類及び配 管 暖房設備器具卸売業		当社の事業① 【4641】 織物、衣料及び履物卸売 業		当社の事業② 【4663】 建築材料、金物類及び配 管 暖房設備器具卸売業		当社の事業③ 【4390】 その他の 専門工事業	
	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI		
	水											
食糧												
住居						○			○			◎
健康・衛生	○			○	○		○		○			
教育												
雇用	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
エネルギー					○				○			
移動手段												
情報												
文化・伝統												
人格と人の安全保障												
正義・公正												
強固な制度・平和・安定												
水 (質)		○		◎		○		○		○		
大気		○		○		○		○		○		
土壌				◎								
生物多様性と生態系サービス						○		○		○		
資源効率・安全性		○		○								
気候		○		○		○		○		○		
廃棄物		○		◎		○		○		○		○
包括的で健全な経済	○		○									
経済収束												

当社の事業①織物、衣料及び履物卸売業 (以下、織物卸売業) : ISIC4641

PI	「健康・衛生」「雇用」
NI	「雇用」「水 (質)」「大気」「生物多様性と生態系サービス」「気候」「廃棄物」

当社の事業②建築材料、金物類及び配管、暖房設備器具卸売業 (以下、建材卸売業) : ISIC4663

PI	「住居」「健康・衛生」「雇用」「エネルギー」
NI	「雇用」「水 (質)」「大気」「生物多様性と生態系サービス」「気候」「廃棄物」

当社の事業③その他の専門工事業（以下、工事業）：ISIC 4390

PI	「住居」「雇用」
NI	「雇用」「廃棄物」

◆「住居」

住居に直接的に関与する事業でないため「建材卸売業」、「工事業」における分析を省略

◆「健康・衛生」

用途に見合った製品を開発することで、最適な生活・労働環境の提供を可能にしている。特に遮熱・遮光性の高いシートを利用したオーニングは、日よけや雨除けなど快適で健やかな空間の提供につながり、「織物卸売業」としてのPIを拡大させている。

SDG3「すべての人に健康と福祉を」、SDG9「産業と技術革新の基盤をつくろう」に該当する。

「3.4 正しい生活習慣を促し、早すぎる死亡を食い止めよう」

「9.4 環境に配慮した技術で、インフラや産業を改善しよう」

◆「雇用」

事業の拡充は安定した雇用を創出することからすべての業種においてPIを拡大させているほか、当社では女性活躍の場の創出や完全週休二日の確保、適度な残業時間の制限により、健やかな職場提供に努め、すべての事業においてNIを緩和させている。

SDG5「ジェンダー平等を実現しよう」、SDG8「働きがいも経済成長も」に該当する。

「5.5 あらゆる意思決定に、男女が平等に参加できる社会へ」

「8.5 すべての人に、働く喜びと正当な対価を」

◆「エネルギー」

産業繊維資材を活用した空間の創出は、通常の建築と比較し、省資源・省エネでの対応が可能であることから、「建材卸売業」におけるPIを拡大する。

SDG7「エネルギーをみんなに」に該当する。

「7.3 全世界で、エネルギー効率を2倍にしよう」

◆「水（質）」「大気」「土壌」「生物多様性と生態系サービス」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」

産業繊維資材および看板等が不要になった際に適切な廃棄・焼却処分を実施しなかった場合は、温室効果ガス等の発生により大気や気候に悪影響を与えるだけでなく、水質汚染等が発生し、生物多様性と生態系サービスに悪影響を与える可能性があるが、当社では必要に応じて廃品回収を実施するなど、「織物卸売業」における「水（質）」「大気」「生物多様性と生態系サービス」「気候」「廃棄物」のNIを緩和させている。

また当社の施工はアッセンブリを基本としていることから、現場での廃棄物の発生が抑制されている上、発生した廃棄物は適切に処分・リサイクルしていることから、「工事業」における「廃棄物」のNIの緩和に繋げている。

なお、「建材卸売業」における「水（質）」「大気」「生物多様性と生態系サービス」「気候」「廃棄物」は、当社の事業と相関性が無いことから分析を省略する。

SDG6「安全な水とトイレを世界中に」、SDG12「つくる責任つかう責任」、SDG13「気候変動に具体的な対策を」、SDG15「陸の豊かさを守ろう」に該当する。

「6.6 水に関わるすべての生態系を保護し、回復させる」

「12.5 廃棄物の発生を3Rで大幅に減らす」

「13.3 気候変動に対する正しい知識と対応能力をみんなに」

「15.1 森や野原、川や湖の生態系を保全し、回復させる」

当社の川上事業① 他に分類されないその他織物製造業（以下、織物製造業）：ISIC1399

PI	「健康・衛生」「雇用」「包括的で健全な経済」
NI	「雇用」「水（質）」「大気」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」

当社の川上事業②：プラスチック製造業：ISIC2220

PI	「雇用」「包括的で健全な経済」
NI	「健康・衛生」「雇用」「水（質）」「大気」「土壌」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」

当社の川上事業③建築材料、金物類及び配管、暖房設備器具卸売業（以下、建材卸売業）：ISIC4663

PI	「住居」「健康・衛生」「雇用」「エネルギー」
NI	「雇用」「水（質）」「大気」「生物多様性と生態系サービス」「気候」「廃棄物」

◆「水（質）」「大気」「土壌」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」

当社が企画・設計する商品において、環境に配慮した素材やリサイクル材を積極的に利用することで資源を効率的に活用することが可能となり、廃棄物の発生を抑制することから、水質・土壌、大気汚染への悪影響を抑え、「織物製造業」における「水（質）」「大気」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」におけるNIの緩和に貢献するほか、「プラスチック製造業」における「水（質）」「大気」「土壌」「資源効率・安全性」「気候」「廃棄物」におけるNIの緩和に貢献する。

SDG6「安全な水とトイレを世界中に」、SDG12「つくる責任つかう責任」、SDG13「気候変動に具体的な対策を」、SDG15「陸の豊かさを守ろう」に該当する。

「6.6 水に関わるすべての生態系を保護し、回復させる」

「12.5 廃棄物の発生を3Rで大幅に減らす」

「13.3 気候変動に対する正しい知識と対応能力をみんなに」

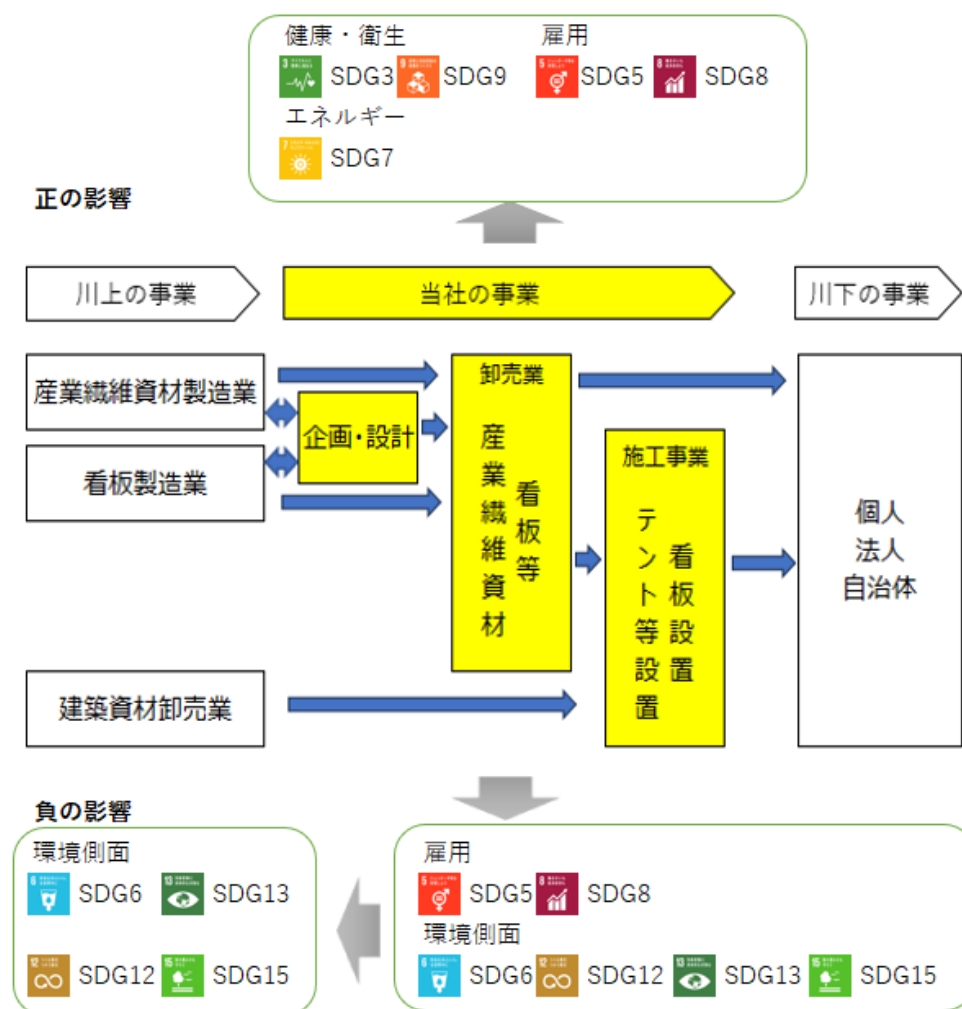
「15.1 森や野原、川や湖の生態系を保全し、回復させる」

先述のカテゴリ以外の川上企業のPI、NIについては、当社と直接・間接的な相関性が無いことから分析を省略した。

川下事業については、業種、人格が多岐に渡るため、同様に分析を省略する。

#### (4)インパクトの特定

発生したインパクトを分類し、当社の事業フレームワークに合わせて配置したうえで、下記の3つにインパクトを特定した。



#### ① 産業繊維資材を活用した持続可能な社会への貢献

- ・オーニング事業の拡充：SDG3、7、13、

遮熱性の高いシートを活用したオーニングは、生活や労働環境において健やかな空間を提供するだけでなく、その保温性の高さからエアコンの利用を抑制し、省エネ（温室効果ガス排出削減）に繋がる環境に配慮した取り組みとなる。今後、同事業を積極的に取り組み、社会および環境への貢献を拡充する。

- ・BCP 対策の実施：SDG9、11

産業繊維資材は様々な場面で活用されており、特に災害時における貢献は計り知れない。引き続き、経済産業省との連携を継続しつつ、あらゆる場面での利用を想定し、商品の軽量化や最適化などの開発に加え、現在、汎用品の大半を特定の商社を通じて仕入れていることから、

不測の事態においても安定した供給を維持するため、仕入先の拡充および自社の BCP 対策を進める。

・自社ブランドの販路の拡充：SDG9

オリジナルブランド「MK シリーズ」は、高性能・高品質の国産ブランドとして、あらゆるフェーズで活躍しているが、国内での高い評価はもちろん、海外製品と比較してもその高い性能は模倣できない「唯一無二」の商品である。そのため、今後、商圏を海外まで広げ、「高性能・高品質の日本製品」としての輸出を検討し、海外においても地域コミュニティや災害時での活用を促進する。

これらの取り組みを実践することで、「産業繊維資材を活用した社会・環境に対する取り組み」を実現し、UNEP FI のインパクトレーダーにおける「健康・衛生」のカテゴリに該当した社会的側面の PI を拡大し、「エネルギー」「気候」における社会的・環境的側面の NI を緩和するものと考えられる。

② 健やかな職場環境の提供

・ジェンダーレスな職場環境の整備：SDG5、8

ジェンダーレスで快適な職場環境を提供するため、休暇の取得方法や柔軟な勤務体制の確立にくわえ、健康診断の際に女性特有の検診が受診できるようにするなど、男性、女性が共に活躍できる職場の創出を図る。

・福利厚生充実の充実：SDG8

現在、余暇における各種クラブ活動の推奨とサポートを行っているが、より一層福利厚生を拡充し、社員の所属意識やモチベーションの向上を図るため、福利厚生を拡充し、ES の向上が事業の拡充に繋がるよう取り組みを実施する。

・健康経営優良法人認定の取得：SDG3、8

健やかな職場環境の維持と一層の向上を図るため、多面的に自社の取り組みを検証することを目的に「健康経営優良法人」の認定を今後取得したうえで、継続性の高い取り組みとする。

これらの方法を実践することで、健やかな職場環境を整備し、社員の帰属意識を高めて組織のケイパビリティの醸成を図り、UNEP FI のインパクトレーダーにおける「雇用」のカテゴリに該当した社会的側面の PI を拡大する。

## 4.インパクトニーズとの整合性

### (1)日本におけるインパクトニーズとの整合性

下図は、「SDGs インデックス&ダッシュボード 2023」を参照したものであり、SDGs の 17 の目標別に日本の達成度を表している。

「緑は目標達成」、「黄は課題が残っている」、「橙は重要な課題が残っている」、「赤は主要な課題が残っている」としている。当社のインパクトに対するSDGsのゴールは「3、5、7、8、9、11、13」であり日本のインパクトニーズに概ね整合していると判断している。とりわけ、「3、5、7、8、11、13」は、課題が残っているものであり、特定されたインパクトは有意義であると判断できる。



(出典：SDSN)

### (2)愛知県におけるインパクトニーズとの整合性

当社の事業活動は地元愛知県を主体に展開しており、「愛知県 SDGs 未来都市計画（第 2 期）」を参照し、愛知県内における SDGs 達成に向けての課題を確認した。

愛知県は「イノベーションを巻き起こす力強い産業づくり」や「企業等で女性が活躍できる環境を作っていくこと」を SDGs 達成に向けての課題とする中、当社が取り組む「産業繊維資材を活用した社会・環境に対する取り組み」や「健やかな職場環境の提供」は、愛知県におけるインパクトニーズと一定の関係性があることを確認した。

#### <今後取り組む課題>

##### (経済面)

- デジタル化の急速な進展に伴って、産業構造の大きな変化が見込まれる中、自動車産業を始め、あらゆる産業において、イノベーションを巻き起こす力強い産業づくりの推進が必要。

##### (社会面)

- 今後、人口減少局面に転じるとともに、急速に高齢者が増加。すべての人が参画し、生涯にわたって活躍できる社会を築いていくことが課題。
- 若年女性の東京圏への流出超過が拡大する中で、持続的な発展のためには、若年女性の流入・定着が重要で、企業等で女性が活躍できる環境をつくっていくことが課題。

##### (環境面)

- 都市化や産業活動により失われた各地域の生態系を再生・回復、維持していくためには、多様な主体が連携して生態系を守っていくことが課題。また、我が国随一の産業県として、企業等と連携しながらカーボンニュートラルの実現にも取り組んでいくことが重要。

## 5. 岐阜信用金庫との親和性

### ◆「ぎふしん SDGs 宣言」

以下の3項目を SDGs 達成に向けた重点課題としている。

- (1) 持続可能な地域の経済成長のための活動
- (2) 持続可能な地域産業の基盤構築のための活動
- (3) 持続可能なまちづくりのための活動

### ◆親和性の確認

本件 PIF の取り組みに際し特定した当社のインパクトである「産業繊維資材を活用した社会・環境に対する取り組み」は「ぎふしん SDGs 宣言」の(1)(2)(3)と、「健やかな職場環境の提供」は、「ぎふしん SDGs 宣言」の(2)と強い親和性があり、相互に協力しあうことで、「経済」「社会」「環境」の3つの側面に渡り、持続可能な開発に関する枠組みとして、良質な効果が発生するものと思われる。






以上から、本 PIF の取組みは追加性のある PI 創出支援を行うものであり、その本源的目的との合致を確認したうえで SDGs 達成に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることを目指すものである。



## 6. KPI の設定

ここでは、特定したインパクトの発現状況を今後も測定可能なものにするため、先に特定したインパクトに対し、それぞれに KPI を設定する。

### ■ 産業繊維資材を活用した持続可能な社会への貢献

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面におけるポジティブインパクトを拡大 社会的・環境的側面におけるネガティブインパクトを緩和
インパクト・カテゴリ	「健康・衛生」「エネルギー」「気候」
関連する SDGs	    
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーニング（日よけ）事業を拡充し、販売先の生活・労働環境での空調利用削減を促すことによる省エネ化への貢献</li> <li>・災害時においても安定して産業繊維資材を調達できる仕入体制構築</li> <li>・自社ブランドの販売拡充による環境や BCP の取り組みの促進</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オーニング事業の受注金額を 2028 年 11 月期までに 2022 年 11 月期対比 110%（5.7 億円以上）とする。</li> <li>・仕入先が 1 商社に偏っているため、2025 年 11 月期までに新たな仕入れ先を確保し、安定供給できる体制を構築する。</li> <li>・高性能・高品質の国内生産自社ブランド「MK シリーズ」の輸出事業を 2028 年 11 月期までに開始する。</li> </ul>

■ 健やかな職場環境の提供

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面におけるポジティブインパクトを拡大
インパクト・カテゴリ	「雇用」
関連する SDGs	  
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェンダーレスで健やかな職場環境の整備</li> <li>・従業員満足（ES）向上のための福利厚生の充実</li> <li>・災害時における地域への支援体制の構築</li> <li>・健やかな職場環境の提供のための取り組みの維持・継続および最適化</li> </ul>
KPI	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の女性従業員比率 26%を 2028 年 11 月期までに 30%とする。</li> <li>・男性、女性問わず産前産後休暇の取得率を 100%とする。</li> <li>・福利厚生の充実により帰属意識の向上、働きがいの創出のためにカフェテリア式の福利厚生システムの導入を 2024 年 11 月までに実施する。</li> <li>・2024 年 11 月期までに災害時における地域への支援体制を構築するため、社員向けの「安否管理システム」の導入を実施する。</li> <li>・自社の取り組みを第三者機関の認定を以てさらに発展させるために「健康経営優良法人」の認定を取得する。</li> </ul>

## 7. モニタリング方法およびマネジメント体制

### (1) 当社におけるインパクトの管理体制

当社では、代表取締役の増田洋一氏を中心に自社業務の棚卸を行い、本 PIF におけるインパクトの特定並びに KPI の策定を行った。

今後についても、増田洋一氏を中心に企業全体の協力を仰ぎながら SDGs の推進、並びに、本 PIF で策定した KPI の管理を行っていく方針である。

#### 【モニタリング体制】

統括責任者	代表取締役 増田 洋一
プロジェクトリーダー	執行役員 総務部長 加藤 伸一

### (2) 当社によるモニタリング

本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、当社と岐阜信用金庫が定期的な場を設けて情報共有する。少なくとも年に 1 回実施するほか、日々の情報交換や営業活動を通じて実施する。